

天皇后両陛下ご来県

両陛下は、11月16日鹿児島入りされ、18日までの3日間で屋久島・与論島・沖永良部島をご視察されました。屋久島を訪れるのは昭和47年以来45年ぶりで、沖永良部島と与論島へは初めてのご訪問でした。

【11月16日 屋久島】
鹿児島空港内で平成27年の口永良部島新岳噴火の概要や復興状況について説明を受けられた後、屋久島町総合センターにて口永良部島の住民代表の方々と懇談されました。

今回の両陛下のご来島では、3島ともに沿道のいたるところで多くの県民の方々が出迎え、3日間でおおよそ3万6400人が日の丸の小旗や手を振って歓迎しました。両陛下も笑顔で手を振ってお応えいただきました。両陛下のやさしいお姿に、多くの県民が尊敬と親愛の念を持ち、感銘を受けました。

【11月17日 与論島】
百合ヶ浜展望休憩所より、青い海と白い砂浜で有名な百合ヶ浜をご覧になられた後、与論町地域福祉センターで国の重要無形民俗文化財に指定されている「与論十五夜踊り」をご覧になりました。



【11月18日 沖永良部島】
ユリ生産者のビニールハウスで、生産者からテッポウユリについて説明を受けられた後、国頭小学校にて日本一のガジュマル、児童による黒砂糖づくりの実演と民謡「永良部百合の花」の合唱をご覧になりました。



両陛下を歓迎する住民の皆さん(左:沖永良部島、中央:与論島、右:屋久島)



1

1 屋久島町総合センターにお入りになる両陛下

口永良部島から駆け付けた住民一人ひとりに声をかけられました。

2 百合ヶ浜をご覧になる両陛下

ご訪問された時にはそれまで降っていた雨も止み、両陛下は百合ヶ浜を双眼鏡で熱心にご覧になりました。特に皇后陛下は星の砂について熱心に質問されました。

3 テッポウユリ栽培の説明を聞かれる両陛下

テッポウユリについて、生産者から「香りが良く、切り花として最も適しております」と説明を受けられると、皇后陛下はユリに顔を近づけ、香りをお楽しみになりました。



3



2



沖永良部島

国頭小学校では、児童が自ら行った黒砂糖づくりの説明や合唱の際弾いていた三味線の音などを熱心にお聞きになり、児童たちにやさしく声をかけられました。



与論島

「与論十五夜踊り」をご覧になられた後には、かぶり物などを手に取って、説明を



踊られた方々一人ひとりにやさしく声をかけ受けられる場面もありました。



屋久島

口永良部島の住民の方々に声をかけられた後、代表の方々と懇談されました。両陛下は噴火後の状況について大変心配しておられた様子で、やさしくねぎらいのお言葉をかけられました。

